

2026 年度入学 AO 入学試験(1 期) 小論文課題

千葉商科大学大学院
会計ファイナンス研究科

次の 3 つの課題(I、II、III)から 1 題を選んで解答しなさい。

I 「会計に関する課題」

以下の問題 A か問題 B のいずれかを選択して解答しなさい。なお、問題 A と B のどちらを選択したか冒頭に必ず明示すること。

問題 A

別添の資料 1 は、C.Littleton の『リトルトン会計発達史』同文館出版, 1952.の一説です。文章を読んで、次の問に答えてください。

1. パツィオロの簿記書とは、いつ頃の本だと思いますか、その理由も述べてください。
2. パツィオロの簿記書が四世紀にわたって影響を与えることができたのはどのような理由によるかを、あなた自身の考えも交えて述べてください。
3. パツィオロが生きた時代、化学や生物学や医学はどのような状態であったか述べて下さい。
4. リトルトンは、会計を学問と呼ぶにふさわしいとしています。その理由をこの文書を参照しながら述べてください。
5. 「初期ハーバード大学の学者の手に成つたもの」とはどのようなものだと思うか、述べてください。
6. この文書を通じて、あなたは会計をどのように位置づけるようになったか述べて下さい。

問題 B

貸借対照表は企業の財政状態の情報を財務諸表利用者に提供するものである。その借方は資金の運用状況、貸方は資金の調達源泉を示すと言われている。ここで財務諸表規則には以下のような条文がある。

【次ページに続く】

第 13 条 資産及び負債の科目の記載の配列は、流動性配列法によるものとする。

第 14 条 資産は、流動資産、固定資産及び繰延資産に分類し、更に、固定資産に属する資産は、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産に分類して記載しなければならない。

第 45 条 負債は、流動負債及び固定負債に分類して記載しなければならない。

第 59 条 純資産は、株主資本、評価・換算差額等及び新株予約権に分類して記載しなければならない。

上記条文および別添の資料2を見ながら下記の 2 つの問いに答えなさい。

1. 貸借対照表の表示に流動性配列法が求められている理由を説明しなさい。
2. 流動性配列法のために流動資産と固定資産、流動負債と固定負債を区分する基準としてどのようなものが考えられますか？具体的な勘定科目を例示して説明しなさい。

II「法律(税法・会社法・その他関連法)に関する課題」

所得税法では、所得を 10 種類に区分してそれぞれ所得の金額を計算する仕組みとなっているが、ある所得がどの所得区分に該当するかの判断が難しい場合があると思われる具体例を挙げ、その理由やどのような基準で判断すべきかを論じなさい。

III「ファイナンス・その他時事問題に関する課題」

別添の資料3をみて、以下の問に対する自分の考えを述べなさい。

高額療養費制度は、病院の窓口で支払う患者の自己負担額を軽減するための制度である。国は健康保険料の負担増、国の税金投入を軽減するために、患者に自己負担増を求めた。それに対して、患者や野党から負担増回避を求める声が強まった。

1. 国は健康保険料を支払う国民の負担軽減を目的としておりもっともな意見とみることができる。それに対して自分の負担が増えることに反対している。もっともな総論に対して、なぜ個別の反対の声(各論)が優位となり国民の声とされてしまうのか？

【次ページに続く】

高額療養費に限らず、相反する総論と各論をどのように調整すべきか、回答者が経験した事例に基づいて解決例を示して下さい。

2. 税金においても、同様の構図が見られる。財政上の理由で消費税税率を引き上げるべきとする意見と、個々の家計の負担軽減を図るため引き下げるべきという意見がある。どのような解決方法が考えられるか、自分の意見を述べなさい。
3. 一般的に、総論と各論のどちらを優先すべきと考えるか、自分の意見を述べなさい。場合分けして回答してもかまいません。

なお、この課題は高額療養費引上げについて賛成・反対を問うものではありません。

※別添資料は、著作権保護された素材（新聞記事等）を含むため、
掲載しておりません。